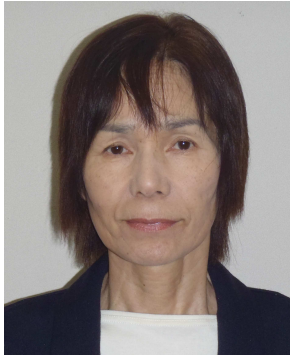


●○ 一斉訪問活動日 ○●

民生委員活動を振り返って



若林 幸代
(滝谷地区担当)

民生児童委員に委嘱され6年目となりました。今までを振り返り、これから委員となる方へ雑感を話してみたいと思います。

一期目は、いきなり大雪で停電、家から出れず二階から雪の中へ飛び降りての安否確認。次は大震災と何をしたらよいかわからず重圧の日々が思い出されます。でも、郡山市で民生委員をしている友人の話では、担当区域の方を知らない、自分を知ってもらうこともできない、その壁を乗り越えるのに大変苦労したとのこと。当町では、「なじょだよ・・・さすけねえ?」とそれで済みます。ああ～三島町でよかった。とつくづく思いました。今でも命にかかわる大事なことは別として本人が望まない善意の押し売りはしない、でも頼られたら最善を尽くすことにしています。

滝谷地区も隣近所の助け合いが良く、いつも通りのことで活動ができます。本当にありがたいです。これからも皆様の力を借りながら活動して行きたいと思います。

岩手県軽米町民生児童委員協議会が来町

～三島町民協と交流研修会～



↑ 活発な意見交換が行われ、貴重な時間を共有し合いました。

岩手県軽米（かるまい）町民生委員・児童委員の17名の方々が、去る6月23日、当町を訪れて、三島町民生委員・児童委員11名と交流研修会を行いました。町の規模は違っても、同じような悩みに直面しながらもそれぞれに工夫し活動しています。

少子高齢化と核家族化、人口減少等が進む中、地域では支援を必要とする人々は増加しています。特に経済的困窮や社会的孤立の状態にある人々への支援、高齢者・障がい者・児童への虐待や消費者被害の防止などは社会全体で取り組むべき課題となっています。又、今年度は民生委員・児童委員の一斉改選が行われることから、改選にむけて委員のなり手の確保が求められています。

最後に、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、様々な活動をしている「民生委員・児童委員」についてぜひ知っていただき、活動へのご理解とご協力をお願いします。



発行：三島町民生児童委員協議会

<広報委員>

北 舘 長 一
五十嵐 和 吉代
栗 城 和 代

事務局：三島町社会福祉協議会

【編集後記】

夏に向けて熱中症になる人が出てきます。熱中症にならないように気をつけましょう。と言いながら、一人暮らしの方を中心に訪問活動をしています。

先日訪問活動中、近況のお話あれこれの中で、季節柄梅の甘漬の話になりました。分量を聞きましてところ、すぐに梅2kg、赤しそ2束、焼酎・酢2分の1カップずつ、氷砂糖1kg。塩は赤しそをもみこむ程度と教えていただきました。90歳位の方でした。メモ帳でも見ないとわからない年齢なのに、こわい認知症なんかどこふく風のように。すごいね!と思いました。その方のように歳を重ねていきたいと・・・ある日の訪問活動の日でした。

【栗城 和代（宮下地区担当）】